

UNIVERSITY
URAWA
JUNIOR COLLEGE

浦大レター

発行日：2007年 11月2日
発行所：浦和大学・浦和大学短期大学部
入試広報室
さいたま市緑区大崎3551
TEL：048-878-5536
FAX：048-878-5690

短期大学部介護福祉科から 総合福祉学部への編入

2008年度編入学から実施

浦和大学短期大学部介護福祉科から浦和大学総合福祉学部への3年次編入が2007年度卒業生から可能になりました。浦和大学短期大学部から四年制大学への編入は、これまで大学編入学推薦制度として36大学(43学部)と協定を結ぶことによって、これらの大学での3年次編入が可能でした。

しかし、本学総合福祉学部は開学間もないこともあって編入制度を見合わせていたため、併設校からの編入学は不可能でした。それを受けて短期大学部在校生から総合福祉学部への編入学を希望する声が出ていました。総合福祉学部開学から4年を経過し、四年制大学として完成年度を過ぎたことから、併設短期大学からの3年次編入を認めることになりました。

これによって浦和大学短期大学部介護福祉科の卒業生は、介護福祉士の資格を取得した上で、総合福祉学

部の3年次に編入することによって社会福祉士国家試験の受験資格取得が可能になりました。

既に現在の2年生から編入試験を受けたいという希望者が出てきています。



浦和大学 4号館

九里總一郎記念奨学金が発足



故 九里總一郎前理事長

学校法人九里学園の創設者である故九里總一郎・前理事長の足跡を記念して2007年5月に設立された九里總一郎記念基金により、九里總一郎記念奨学金が発足しました。

[給付資格] A. 学業成績優秀者
B. 学術または文化、芸術、スポーツ、社会貢献活動で
成果をあげ、かつ学校の名声を高めた者

[給付額] 浦和大学学生 年30万円
浦和大学短期大学部学生 年20万円

[交付日] 九里總一郎先生の誕生日である10月1日

[支給人数] 当該年度予算の範囲内で学長が決定する。

■第1回授与式を開催

九里總一郎記念奨学金の第1回授与式が10月1日、2号館大会議室で行われました。授賞式には九里幾久雄理事長をはじめ、各学部長・学科長、受賞者のゼミ担当教員と受賞者が出席しました。今回の受賞者は総合福祉学部4名、こども学部1名、短期大学部介護福祉科2名で、九里理事長から奨学金目録をそれぞれ手渡されました。

「大学で学ぶということ」

学長 八木 浩 輔



浦和大学・短期大学部は、たくさんのプログラムがあって、多彩なカリキュラムを皆さんに提供して、大いに勉強していただきたいと願っております。

大学で学ぶということは、基本的にこういうことが大事だという勉強の仕方というものがあります。それについて、私の経験を皆さんにお伝えし、参考にしてもらいたいと思います。

それは、私が、アメリカの大学院（カリフォルニア大学）で行った最初の講義の時間に、非常に印象的な出来事がありました。半分くらい講義が進んだときに、学生A君が「質問してよろしいか」と手をあげました。もちろん私は「よろしい」と。A君は「先生の今言った部分は良く分からないので、まったく違った見方で説明して頂けないか」。という質問をしました。

その質問というのは初歩的な質問である。しかし、「全く違った視点から説明してくれないか」と彼は言っている。

私は少し考えて、全く違った視点からというところだろうと説明を与えました。そうしたら、隣にいたB君が「それを図に書いて下さいませんか」とまた質問がでました。私は図を書いた。さらにC君が「そこに線を一本加えたらどうか」というのですね。このように質問の連鎖が起きました。

私が思うに、A君の質問は初歩的であったかも知れませんが、A君の質問が引き金になって、教室全体の理解が非常に高いところに、どんどん、どんどん進むという。これは、すごいことだなあと思いました。要するに学生が学ぶというのは、こういうことなんだなあと発見しました。先生が教えるということも、こういうことなんだということを見出した訳です。

皆さんもこの話から、大学でいろいろな講義を受け、「分からない」と思ったら、遠慮なく質問することです。こんな質問したら、ちょっと恥ずかしいなどという遠慮は全く不要です。例え、その質問が簡単なものであってもそれが引き金になって、クラス全体の理解のレベルがものすごく高くなるという効果があるのです。それが大学の授業だということです。

それからもう一つ大事なこと。大学は学問の場であるとはよくいいますが、学問という字を考えてください。「学ぶ」、「問う」ということです。即ち、学ぶということは自分で質問をして学び取るということです。自ら質問をして学ぶこと。本人の積極性が問われる訳です。大学の授業というのは自分で、積極的に問いを発さない限り、学生に得るものはないと思ってくださいというくらいのものであります。以上、簡単な例を申しましたが、大学で学ぶということについて学長の考えを皆さんにお伝えしたいと思います。



親子ひろば『ぽっけ』開設

こども学部
通信

—記念式典と記念植樹で祝う—

こどもコミュニティセンターに「親子ひろば『ぽっけ』」が10月に開設されました。この親子ひろばは、0歳から3歳ぐらいまでのこどもを対象に、親子と本学学生との交流の場として、10月から毎週1回開催されています。この開設を記念して10月20日、1号館前南庭で記念式典と記念植樹を行いました。

開設式典では、九里幾久雄理事長をはじめ、こども学部教員、学生や保護者、『ぽっけ』参加親子が集まり、開設を祝いました。また、式典出席者による記念植樹も行われました。



▲『ぽっけ』の開設式であいさつする九里理事長



▲学生と子どもたちで植樹



▲大きなシャボン玉ができて子どもたちも大喜び



▲こどもコミュニティセンター前の中庭



▲こどもコミュニティセンターで遊ぶ親子

これが浦大の キャンプ実習!!

話したことのない人と話せた
語らいの中で大いに笑った
単なる友達から仲間になった
仲間たちの感謝の気持ちが
感動の涙になった

浦和大学総合福祉学部、浦和大学短期大学部介護福祉科のキャンプ実習は、毎年8月下旬から9月上旬にかけて開催されています。30時間1単位の選択科目ですが、3泊4日の集中講義として野外キャンプ場で行われています。選択科目とはいえ、介護福祉科などは病弱者などを除き、1年在籍者の9割以上が参加するという超人気実習です。

4大

▼タイヤと竹ざおで作った筏 (いかだ)



▲初めてのカヤックもポーズを取れるまでに上達



▲キャンプファイヤ用の身につける飾り作りの課題に取り組む



◀初歩的なロープワークでも結構難しい



▲薪割りもやってみると楽しいという女子学生も



▲流しそうめんっておいしいけれど、なかなか流れてこないね

【 詳細については浦和大学ホームページの受験生用▶キャンパスライフ▶キャンプ実習
<http://www.uradainyushi.jp/07life/camp.html>も併せてご覧ください 】

短大



▲バーベキューは焼けるそばからおなかの中に



▲青春が弾ける楽しいキャンプファイヤー



▲自然の神に扮する担当教授から火を授かる各班班長



▲キャンプに来て初めて習ったトーチ演技に拍手喝さい



▲スタッフ・先輩が掲げるトーチのトンネルをくぐって感激の退場



▲キャンプ解散に先生と握手し記念のシュラフを手渡されて感激の涙が流れる者も





▲「希望のまち健康ダンス隊」でダンスを披露する浦和健康ダンスチーム(右から2人目は教員)

さいたま市『咲いたまつり』にダンスとパレードに参加

ボランティア活動の一環として、地元さいたま市の市民まつりに本学学生が参加しました。さいたま市民まつりである『咲いたまつり』は、「みんなで築こう“さいたまの伝統と文化”」を開催テーマにしたイベントです。本学は昨年につき10月13日(土)『第5回咲いたまつり』に緑区の大学を代表して参加し、ダンスやパレードに出場しました。

(詳細は受験者用ホームページのキャンパスライフ>ボランティア活動 <http://www.uradainyushi.jp/07life/volunteer.html>に掲載されています)



▲“のり”の良いダンスに大人も子どもも踊り出す



▲パレードのときに配るバルーンアートづくり



▲『浦和大学よさこい』ではそろいの法被も鮮やかに



▲着ぐるみは子どもたちに大人気。遠くから見つけると一生懸命駆けてくる



▲緑区を代表して美園中学校や浦和東高校の生徒たちとパレードに参加



▲テレビカメラの前でアピール

秋晴れの下 「しらさぎ祭」

浦大の大学祭である「しらさぎ祭」は10月20・21日の二日間にわたって開催されました。また、しらさぎ祭に先立つ19日には学内スポーツ大会が開かれ、ゼミ別対抗の球技が行われました。

今回のしらさぎ祭は、今回初めて野外ステージを設けてタレントによるお笑いライブやスーパーライブを開催し、入場制限なしで大勢の人に楽しんでもらったことが特徴です。また、本学ダンス部が九里メモリアルホールで熱演し、フィナーレを飾りました。



地域の皆さんに大好評の野菜大売り場。
毎回、1時間足らずで完売



障害者総合施設「つくる会」
コーナーで、点字を習うこと
もたち。中央の男性は本学の
視力障がいの学生です



恒例の父母会の手作り教室。
無料のコーヒーやケーキ自当ての人も



茶道部のお点前。
お茶菓子も出ます



野外ステージでプロのダンス実演に
多数の観客が堪能



本学ダンス部のステージ。
プロには足元にも及ばないけれど、
ダンスへの熱情は負けない



学内スポーツ大会も前日(19日)に開催されました



スポーツ大会 サッカー

スポーツ大会 バレーボール



スポーツ大会 バasketボール

秋のキャンパス 見学ツアーのお知らせ



12月以降のAO入試、推薦入試Ⅱ期、一般入試を受験される受験生のために、「秋のキャンパス見学ツアー」を開催します。

🍁 **11月17日(土)** 午後1時～4時 (随時)

🍁 **11月24日(土)** 午後1時～4時 (随時)

* 予約は不要です。

* 午前中を希望される方は、電話・Eメールなどで予約してください。

* 両日とも下記の土曜・休業期間のスクールバス運行のほか、東川口駅発浦和大学行12:30・13:30・14:30の臨時便を増発します。詳細はホームページの

浦和大学へ行こう！>キャンパス見学会 <http://www.uradainyushi.jp/O4ikou/index.html>

スクールバス運行表 http://www.uradainyushi.jp/O4ikou/access_01.htmlをご覧ください。

★随時見学

* 日曜日・祝日・年末年始を除き、午前9時から午後4時までの間、入試広報室事務職員の対応による受験相談や学部・学科の説明、学内施設の見学ができます。ただし、土曜日は午前9時から午前中までをお願いします。

* 予約は不要ですが、できるだけ事前に来学日時をご連絡ください。

* 下記のスクールバスの運行表をご覧ください。

11月17日(土)・24日(土)
(浦和大学-東川口駅間)

臨時バスが 出ます!!



※浦和大学-浦和美園駅のスクールバス運行は変更がありません。赤字が臨時便です。

臨時運行表(11月17・24日のみ)

浦和大学行 東川口駅(発)	時	東川口駅行 浦和大学(発)
10 35	8 05	
30	9 10 40	
10 10	10 40	
00	11 40	
10 30	12 40	
00 30	13 40	
10 30	14 00 40	
00 50	15 00 30	
40	16 00 20	
17	10 30	

スクールバス運行表

東川口駅発 本学行便

浦和大学行		
平日	時	土曜日・休業期間
35 33 31 29 25 00	8	10 35
30 00	9	30
50 20 17 14 11 08 05 00	10	10
30 00	11	00
40 30 20 10 00	12	10
30 00	13	00
50 20 10 00	14	10
50 20 00	15	00 50
50 40	16	40

無印…大学行直行です。■…浦和美園駅経由大学行です。

※注意事項

1. 運行時刻表は、行事により変更することがあります。
2. 休業期間は(夏季期間)8月1日～9月18日(冬季期間)12月25日～1月5日(春季期間)3月15日～3月31日です。
3. 日曜・祝日および12月29日～1月3日はすべて連休です。

浦和美園駅発 本学行便

平日		土曜日・休業期間	
東川口駅行	浦和大学行	時	浦和大学行
	45 20	8	20
17	15	9	10
37	15	10	30
17	15	11	20
27	15	12	35
47	15	13	05
43	15	14	05
57	15	15	05
47	05	16	05
	05	17	05

本学発 東川口駅行・浦和美園駅行便

東川口駅行・浦和美園駅行		
平日	時	土曜日・休業期間
40 35 10 10 08 06 04 00	8	05 10
48 46 44 42 40 38 10	9	00 10 40
40 30 00	10	20 40
50 40 10	11	10 40
40 20 10 00	12	25 40 55
50 40 10	13	40 55
40 36 33 30 00	14	40 55
50 30 20 00	15	30 55
40 30 25 20 15	16	20 55
45 30 15 10	17	10 15 30
55 45 15 00	18	
30 15	19	

無印…東川口駅行直行です。■…浦和美園駅経由東川口駅行です。■…浦和美園駅行です。

学校法人 九里学園 浦和大学／浦和大学短期大学部

入試 〒336-0974 さいたま市緑区大崎3551 ☎048-878-5536(直通) FAX 048-878-5690(直通) 携帯電話 090-8720-0613(直通)
広報室 | URL <http://www.uradainyushi.jp> E-mail un@uradainyushi.jp 携帯mail uradai@docomo.ne.jp